

○2階渡り廊下の鏡は物語る

スポーツの世界を見ると、必ず勝ち負けがあります。一体どういうチームや人が勝者となり、どういうチームや人が敗者となるのでしょうか？拮抗した勝負に勝つ秘訣はあるのでしょうか？

実は、最後に勝敗を分けるポイントは、そのチームに「勝ちきる自信」があるかどうかだそう
です。接戦の末に最後の1点をとることができるのは、卓越した技術でも経験でもなく、心理的
なものだということです。確かに、試合を見ていると、一方的に負ける試合だってあります。し
かし、それも高校生の場合は、力の差というよりは、心理的な要素が多分にあるだろうと思いま
す。

先日、浜山球場で「開星高校と益田東高校」の試合を観戦しました。結果は7－6で開星高校
のサヨナラ勝ちでした。しかし、試合の流れは圧倒的に益田東有利。それでも、開星が勝ちきっ
たのは、ほんの少し「勝ちきる自信」が上回っていたのだらうと思います。

それでは、その「勝ちきる自信」は一体どうすれば得られるのでしょうか？
それは、みんなも気づいている通り、日頃の地道な努力以外の何物でもないでしょう。流した汗
の量が力となり自信となるのです。

また、勝つチームというのは、日頃の生活がしっかりしているということです。グラウンドでは
素晴らしい挨拶をするのに、校内では挨拶をしない。体育館ではカバンがきれいに並んでいるの
に、教室のロッカーは乱雑。そんなチームは決して勝てない。人というのは、善と悪を使い分け
られるほど器用にできていません。必ず悪が善を駆逐してしまいます。悪は楽ですが、善は努力
を要します。意識して善の精神を貫くことです。当たり前のことを当たり前のように徹底して行
うことが大切です。

「凡事徹底日々新生」 このことが勝負に勝つ方法であり、夢へ向かう唯一で最短の方法です。

1棟と2棟をつなぐ2階の東渡り廊下にある鏡を皆さん見てみてください。あんなきれいな鏡
を私は見たことがない。私はこれまで島根県内のすべての高等学校、特別支援学校を訪問しまし
たが、あの鏡は島根県で1番美しい鏡だと断言できます。出雲農林高校の凡事徹底の象徴だと思
います。挨拶、掃除、授業、実習、日々当たり前のことを徹底して行いましょう。